平成26年８月期　第２四半期決算短信〔日本基準〕（非連結）

平成26年4月8日

上場会社名　　日創プロニティ株式会社　　上場取引所　福
コード番号　　3440　　ＵＲＬ　http://www.kakou-nisso.co.jp
代表者　　（役職名）代表取締役社長　　（氏名）石田利幸
問合せ先責任者　（役職名）取締役経営企画室長　　（氏名）西川新二　　ＴＥＬ　092-552-3749

四半期報告書提出予定日　　平成26年4月14日　　配当支払開始予定日　－
四半期決算補足説明資料作成の有無：無
四半期決算説明会開催の有無　　：無

（百万円未満切捨て）

１．平成26年８月期第２四半期の業績（平成25年９月１日～平成26年２月28日）

（１）経営成績（累計）

（%表示は、対前年同四半期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
26年８月期第２四半期	3,643	12.6	1,526	5.6	1,528	5.8	897	10.5
25年８月期第２四半期	3,237	280.3	1,446	－	1,444	－	812	－

	１株当たり四半期純利益	潜在株式調整後１株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
26年８月期第２四半期	122.01	121.28
25年８月期第２四半期	121.65	120.59

（注）当社は、平成25年3月1日付で普通株式1株に付き200株の割合で、また平成25年12月1日付で普通株式1株に付き４株の割合で株式分割を行っております。前事業年度の期首に当該株式分割が行われたと仮定し、１株当たり四半期純利益金額及び潜在株式調整後１株当たり四半期純利益金額を算定しております。

（２）財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
26年８月期第２四半期	7,369	4,996	67.8
25年８月期	7,299	4,205	57.6

（参考）自己資本　　26年８月期第２四半期　　4,996百万円　　25年８月期　　4,205百万円

２．配当の状況

	年間配当金				
	第１四半期末	第２四半期末	第３四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
25年８月期	－	0.00	－	14.38	14.38
26年８月期	－	0.00			
26年８月期（予想）			－	15.00	15.00

（注）直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

当社は、平成25年12月1日付で普通株式1株に付き４株の割合で株式分割を行っております。そのため、平成26年８月期（予想）の年間配当金については、当該株式分割の影響を考慮して記載しております。また、前事業年度の期首に当該株式分割が行われたと仮定し、平成25年8月期の年間配当額を記載しております。当該株式分割の影響を加味し、遡及修正を行う前の配当額は57円50銭であります。

３．平成26年８月期の業績予想（平成25年９月１日～平成26年８月31日）

（%表示は、対前期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		１株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	7,630	19.4	2,936	6.2	2,936	6.6	1,809	15.5	245.89

（注）直近に公表されている業績予想からの修正の有無：無

（注）当社は、平成25年12月1日付で普通株式１株に付き４株の割合で株式分割を行っております。１株当たり当期純利益については、当該株式分割の影響を考慮して計算しております。詳細は、次ページ「※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項」をご覧ください。

※　注記事項

（１）四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：無

（２）会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

①　会計基準等の改正に伴う会計方針の変更　：無
②　①以外の会計方針の変更　：無
③　会計上の見積りの変更　：無
④　修正再表示　：無

（３）発行済株式数（普通株式）

①　期末発行済株式数（自己株式を含む）	26年８月期２Ｑ	7,360,000株	25年８月期	1,840,000株
②　期末自己株式数	26年８月期２Ｑ	3,200株	25年８月期	800株
③　期中平均株式数（四半期累計）	26年８月期２Ｑ	7,356,800株	25年８月期２Ｑ	1,669,600株

（注）平成25年12月1日付で普通株式１株に付き４株の割合で株式分割し、発行済株式総数が5,520,000株増加しております。

※　四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続きは終了しております。

※　業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

（業績予想の適切な利用に関する説明）

上記の業績予想の数値は本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき作成されたものであり、多分に不確定要素を含んでおります。実際の業績等は業況の変化等の今後の要因によって予想数値と異なる場合があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、四半期決算短信【添付資料】P.３「業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧下さい。

（その他特記事項）

当社は、平成25年12月1日付で普通株式１株に付き４株の割合で株式分割を行っております。当該株式分割の影響を加味し、遡及修正を行う前の１株当たり四半期（当期）純利益につきましては以下のとおりであります。

基準日：平成25年８月期 第２四半期末486円59銭 期末930円84銭

○添付資料の目次

１．当四半期決算に関する定性的情報 …… 2
（１）経営成績に関する説明 …… 2
（２）財政状態に関する説明 …… 2
（３）業績予想などの将来予測情報に関する説明 …… 3
２．サマリー情報（注記事項）に関する事項 …… 3
（１）四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 …… 3
（２）会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示 …… 3
３．四半期財務諸表 …… 4
（１）四半期貸借対照表 …… 4
（２）四半期損益計算書 …… 6
第２四半期累計期間 …… 6
（３）四半期キャッシュ・フロー計算書 …… 7
（４）四半期財務諸表に関する注記事項 …… 8
（継続企業の前提に関する注記） …… 8
（株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記） …… 8
（重要な後発事象） …… 8

１．当四半期決算に関する定性的情報

（１）経営成績に関する説明

当第２四半期累計期間におけるわが国経済は、政府による積極的な金融・財政政策等により、株式市場も活況を呈し、景気は緩やかながら回復基調で推移いたしました。

当社の属する金属加工業界におきましては、平成24年７月に再生可能エネルギーの固定価格買取制度が施行されて以降、太陽光発電関連製品に対する需要が拡大いたしました。平成25年４月の固定買取価格の見直しにより、太陽光発電設備の建設計画の停滞が懸念されましたが、当期におきましても、引き続き全国各地において太陽光発電設備の計画が推進されております。

このような状況の中、営業面におきましては、堅調な成長が続く太陽光発電市場に対応するため、東京、大阪に続き宮城県仙台市に営業所を開設し、東日本における営業力を強化いたしました。全社を挙げて、既存の取引先への継続営業及び新規取引先の開拓に努力し、設計織込み済みのメガソーラー向け架台及び中・小規模の産業向け架台の受注、販売に重点的に取り組みました。また、当社オリジナル製品であるソーラーネオポートの販売を強化し、設置件数の伸びに繋げることができました。別注加工品におきましては、駅天井板、集電箱及び体育館の内外装パネル等の販売に注力いたしました。

なお、当社はこれまで山田工場（福岡県嘉麻市）１か所で生産をしてまいりましたが、東日本の生産拠点確保、リスク分散及び物流コスト低減等のために福島工場（福島県石川郡、平成26年３月竣工）を新設いたしました。

結果といたしまして、当第２四半期累計期間の売上高は3,643,336千円（前年同四半期比12.6%増）、営業利益は1,526,805千円（前年同四半期比5.6%増）、経常利益は1,528,435千円（前年同四半期比5.8%増）、四半期純利益は897,567千円（前年同四半期比10.5%増）となりました。

（２）財務状態に関する説明

①資産、負債及び純資産の状況

（資産）

当第２四半期会計期間末における総資産は、前事業年度末と比較して69,401千円（1.0%）増加して7,369,072千円となりました。

前事業年度末と比較し、流動資産は437,336千円（7.5%）減少し5,430,150千円、固定資産は506,738千円（35.4%）増加し1,938,922千円となりました。

流動資産の減少の主な要因は、受取手形及び売掛金が186,986千円増加したことに対して、現金及び預金が620,286千円減少したこと等によるものであります。

固定資産の増加の主な要因は、建設仮勘定が554,522千円増加したこと等によるものであります。

（負債）

当第２四半期会計期間末における負債合計は、前事業年度末と比較して722,412千円（23.3%）減少し2,372,233千円となりました。

前事業年度末と比較し、流動負債は667,473千円（27.0%）減少し1,808,033千円、固定負債は54,938千円（8.9%）減少し564,199千円となりました。

流動負債の減少の主な要因は、買掛金が90,057千円増加したことに対し、未払法人税等が701,991千円減少したこと等によるものであります。

固定負債の減少の主な要因は、長期借入金が52,698千円減少したこと等によるものであります。

（純資産）

当第２四半期会計期間末における純資産合計は、前事業年度末と比較して791,813千円（18.8%）増加し4,996,839千円となりました。

純資産の増加の主な要因は、利益剰余金が791,813千円増加したことによるものであります。

②キャッシュ･フローの状況

当第２四半期累計期間における現金及び現金同等物(以下「資金」という)は、前事業年度末に比べ636,837千円減少し、3,239,884千円となりました。

また、当第２四半期累計期間における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりであります。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動の結果獲得した資金は185,449千円（前年同四半期は511,646千円の獲得）となりました。

これは主に、法人税等の支払額1,279,506千円、売上債権の増加186,986千円がありましたが、税引前四半期純利益の計上1,528,435千円、仕入債務の増加90,057千円により資金が増加したことによるものであります。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動の結果使用した資金は562,259千円（前年同四半期は136,664千円の使用）となりました。

これは主に、有形固定資産の取得による支出523,860千円により資金が減少したことによるものであります。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動の結果使用した資金は260,027千円（前年同四半期は82,519千円の使用）となりました。

これは主に、長期借入金の返済による支出86,115千円、配当金の支払額103,912千円により資金が減少したことによるものであります。

（３）業績予想などの将来予測情報に関する説明

当社は、平成26年３月14日に公表のとおり第２四半期累計期間及び通期の業績予想を修正しております。また、通期の業績予想につきましては、下期の業績予想を当初予想通りと見込んでおり、第２四半期（累計）までの修正分を反映させております。詳細は平成26年３月14日公表の「業績予想の修正に関するお知らせ」をご参照ください。

２．サマリー情報（注記事項）に関する事項

（１）四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

（２）会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

該当事項はありません。

３．四半期財務諸表

（１）四半期貸借対照表

（単位：千円）

	前事業年度 （平成25年８月31日）	当第２四半期会計期間 （平成26年２月28日）
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	4,032,898	3,412,611
受取手形及び売掛金	1,258,803	1,445,790
商品及び製品	39,557	24,508
仕掛品	170,075	197,515
原材料及び貯蔵品	263,916	259,278
前払費用	2,613	4,303
繰延税金資産	110,923	64,271
未収入金	13	－
その他	686	35,941
貸倒引当金	△12,001	△14,070
流動資産合計	5,867,487	5,430,150
固定資産		
有形固定資産		
建物（純額）	368,642	357,778
構築物（純額）	6,922	6,208
機械及び装置（純額）	475,252	427,002
車両運搬具（純額）	12,900	10,752
工具、器具及び備品（純額）	32,339	41,962
土地	399,601	399,601
建設仮勘定	75,328	629,850
有形固定資産合計	1,370,987	1,873,156
無形固定資産	55,987	60,626
投資その他の資産		
破産更生債権等	2,908	2,903
その他	5,209	5,138
貸倒引当金	△2,908	△2,903
投資その他の資産合計	5,209	5,138
固定資産合計	1,432,184	1,938,922
資産合計	7,299,671	7,369,072

（単位：千円）

	前事業年度 （平成25年８月31日）	当第２四半期会計期間 （平成26年２月28日）
負債の部		
流動負債		
買掛金	127,869	217,926
短期借入金	535,000	465,000
1年内返済予定の長期借入金	152,793	119,376
未払法人税等	1,298,524	596,533
賞与引当金	－	56,650
その他	361,319	352,547
流動負債合計	2,475,507	1,808,033
固定負債		
長期借入金	273,035	220,337
退職給付引当金	36,178	36,495
長期未払金	300,200	300,200
繰延税金負債	8,259	5,700
資産除去債務	1,330	1,330
その他	136	136
固定負債合計	619,138	564,199
負債合計	3,094,645	2,372,233
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,176,968	1,176,968
資本剰余金	1,102,806	1,102,806
利益剰余金	1,925,384	2,717,198
自己株式	△133	△133
株主資本合計	4,205,025	4,996,839
純資産合計	4,205,025	4,996,839
負債純資産合計	7,299,671	7,369,072

（２）四半期損益計算書
（第２四半期累計期間）

（単位：千円）

	前第２四半期累計期間 （自 平成24年９月１日 至 平成25年２月28日）	当第２四半期累計期間 （自 平成25年９月１日 至 平成26年２月28日）
売上高	3,237,071	3,643,336
売上原価	1,464,728	1,684,228
売上総利益	1,772,343	1,959,108
販売費及び一般管理費	325,904	432,303
営業利益	1,446,438	1,526,805
営業外収益		
受取利息	212	514
受取家賃	872	2,193
受取補償金	191	－
助成金収入	－	450
貸倒引当金戻入額	308	－
その他	626	973
営業外収益合計	2,212	4,131
営業外費用		
支払利息	4,496	2,501
営業外費用合計	4,496	2,501
経常利益	1,444,155	1,528,435
税引前四半期純利益	1,444,155	1,528,435
法人税、住民税及び事業税	691,095	586,773
法人税等調整額	△59,350	44,093
法人税等合計	631,745	630,867
四半期純利益	812,409	897,567

（３）四半期キャッシュ・フロー計算書

（単位：千円）

	前第２四半期累計期間 （自 平成24年９月１日 至 平成25年２月28日）	当第２四半期累計期間 （自 平成25年９月１日 至 平成26年２月28日）
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税引前四半期純利益	1,444,155	1,528,435
減価償却費	70,734	83,962
貸倒引当金の増減額（△は減少）	4,089	2,063
退職給付引当金の増減額（△は減少）	1,852	317
賞与引当金の増減額（△は減少）	52,071	56,650
受取利息及び受取配当金	△212	△514
支払利息	4,496	2,501
売上債権の増減額（△は増加）	△1,202,222	△186,986
たな卸資産の増減額（△は増加）	21,653	△7,752
仕入債務の増減額（△は減少）	84,164	90,057
未払費用の増減額（△は減少）	44,005	23,671
その他	12,152	△125,416
小計	536,940	1,466,988
利息及び配当金の受取額	212	514
利息の支払額	△4,552	△2,545
法人税等の支払額	△20,953	△1,279,506
営業活動によるキャッシュ・フロー	511,646	185,449
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の預入による支出	△74,503	△77,311
定期預金の払戻による収入	63,402	60,761
有形固定資産の取得による支出	△113,828	△523,860
無形固定資産の取得による支出	△11,736	△21,848
投資活動によるキャッシュ・フロー	△136,664	△562,259
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額（△は減少）	20,000	△70,000
長期借入金の返済による支出	△90,080	△86,115
配当金の支払額	△12,439	△103,912
財務活動によるキャッシュ・フロー	△82,519	△260,027
現金及び現金同等物の増減額（△は減少）	292,462	△636,837
現金及び現金同等物の期首残高	864,019	3,876,722
現金及び現金同等物の四半期末残高	1,156,482	3,239,884

（４）四半期財務諸表に関する注記事項

（継続企業の前提に関する注記）

該当事項はありません。

（株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記）

該当事項はありません。

（重要な後発事象）

該当事項はありません。